

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏢 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 真理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-1]

名古屋市学校心臓検診方式と精度管理システム

○加藤 太一¹, 馬場 礼三², 長嶋 正實³ (1.名古屋大学大学院医学系研究科成長発達医学, 2.中部大学生命健康科学部, 3.愛知県済生会リハビリテーション病院)

[I-HRS-2]

学校心臓検診の精度管理 東京都の現況

○鮎澤 衛^{1,2} (1.神奈川工科大学 健康医療科学部, 2.東京都医師会都立学校心臓健診判定委員会)

[I-HRS-3]

横浜市方式学校心臓検診の精度管理

○岩本 真理¹, 銚碕 竜範², 西澤 崇³ (1.まりこどもクリニック港南台, 2.国立病院機構 横浜医療センター, 3.横浜共済病院)

[I-HRS-4]

学校心臓検診のデジタル化の取り組み：2025年 Update

○三谷 義英^{1,2} (1.三重大学医学部附属病院周産母子センター, 2.小児循環器医療DXワーキング)

[I-HRS-5]

切れ目のない学校保健を目指した、学校健診 DX 実証取り組みと目指すところ

○畑中 洋亮^{1,2} (1.一般財団法人あなたの医療, 2.内閣官房デジタル行財政改革会議事務局)

[I-HRS-6]

新潟県での学校心臓検診のデジタルトランスフォーメーションの取り組みと課題

○鈴木 博¹, 小澤 淳一², 沼野 藤人³, 塚野 真也⁴, 佐藤 勇⁵ (1.新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター, 2.長岡赤十字病院 小児科, 3.新潟大学医歯学総合病院 小児科, 4.新潟市民病 小児科, 5.よいこの小児科さとう)

[I-HRS-7]

富山県下に於ける学校心臓検診デジタル化の現状

○藤田 修平^{1,3}, 竹田 義克¹, 臼田 和生², 畑崎 喜芳³, 三川 正人³, 廣野 恵一³, 津幡 眞一³, 橋本 郁夫³, 辻 春江³, 宮崎 あゆみ⁴, 上勢 敬一郎⁴ (1.富山県立中央病院 小児科, 2.富山市医師会 心臓検診特別委員会, 3.富山市医師会 心臓検診特別委員会, 4.高岡市医師会)

[I-HRS-8]

仙台市・宮城県の学校心電図検診デジタル運用の取り組みと課題

○木村 正人^{1,2}, 河村 司^{1,3} (1.仙台市児童生徒心臓病精密検査専門委員会, 2.国立病院機構 仙台医療センター 小児科, 3.宮城県成人病予防協会)

[I-HRS-9]

石川県予防医学協会のクラウド型学校心臓検診

○岩田 みどり¹, 田畑 正司², 伊藤 真一¹, 島田 英司¹, 中山 美樹¹, 中山 美咲¹, 幅岸 稚奈¹, 狭間 裕子¹, 太田 邦雄³ (1.一般財団法人 石川県予防医学協会 健康増進部, 2.一般財団法人 石川県予防医学協会, 3.金沢大学医薬保健研究域 医学教育学)

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏠 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 眞理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-1] 名古屋市学校心臓検診方式と精度管理システム

○加藤 太一¹, 馬場 礼三², 長嶋 正實³ (1.名古屋大学大学院医学系研究科成長発達医学, 2.中部大学生命健康科学部, 3.愛知県済生会リハビリテーション病院)

Keywords：学校心臓検診、精度管理、学校生活管理指導表

質の高い学校心臓検診のためには、精度管理は非常に重要である。名古屋市の学校心臓検診の形式として、一次検診は12誘導心電図により独自のパソコンソフトから閲覧、判定が可能な方式となっている。その後、一次検診で要精査となった者のうち、すでに診断され、医療機関にて管理されている者は学校生活管理指導表の提出を三次検診にかえており、それ以外は二次検診以降の精査に進む。二次検診では心房中隔欠損症や心筋症などの疑いがあるものに対してエコーを行う。検診会場に会場してもらった形式で行っており、自由に医療機関を受診できるようにはしていない。さらに、三次検診は名古屋市内の指定医療機関で行っており、そこで診断・学校管理が決定されている。ただし、診断困難な症例のみ、さらなる検査を専門医療機関で行っている。一次検診から三次検診までは小児循環器医がすべて行っており、上級医が確認することで精度を保っている。さらに、二次検診、三次検診の結果は精度管理担当医が改めて検査内容、検査結果などを確認したうえで、疑義があれば検診担当医に問い合わせをするなどしている。三次検診終了後に検診担当医、検査技師、学校関係者などの関係者が集まる検討会で精度管理担当医のまとめたデータをもとに、判定に疑義のある症例、診断に注意すべき症例、判断の難しい症例などについて確認および意見交換するとともに、学校心臓検診における最新情報の共有を行っている。学校心臓検診のデータについては報告書を作成し、検診担当医などの関係者および各学校に配布している。このように複数の目で検診内容を確認し、精度管理の結果を関係者にフィードバックすることで質の高い学校心臓検診を維持している。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏠 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 眞理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-2] 学校心臓検診の精度管理 東京都の現況

○鮎澤 衛^{1,2} (1.神奈川工科大学 健康医療科学部, 2.東京都医師会都立学校心臓健診判定委員会)

Keywords：東京都、学校検診、心臓検診

東京都の学校心臓検診の体制は、対象者と学校数の多さから一様に説明することは難しい。演者の関与する範囲では、2つの体制がある。都内広域に学区・学校と契約している検診事業者が多くの専門的医療機関と提携して1次検診から3次検診（病院精査）が行われる体制（1）と、都の教育庁から東京都医師会への委託により、医療機関と医師会からのメンバーによって構成される都立学校心臓検診判定委員会（2）である。10社前後の検診事業者が委託され実施している。ともに30年以上継続的に行われている。これら以外の地域では、地区医師会で学校検診の委員会を組織して対応している。（1）では、最近10年間の対象者は12万人前後で推移している。毎年、各年度の成績を事業者と協力して統計的にまとめ、年報として発刊、Web掲載するとともに、毎年、注意すべき事例や判定基準について、検討する時間を設けている。対象者の多さから、全てを網羅して検討することは困難で、各施設での指導体制が重要と考えられる。（2）では、対象者は例年約4万5千人前後で、判定委員会は毎年4月から7月に毎週1回開催され、検診実務を行いながら、合議の必要な事例の検討を行って判定を進めている。結果報告の会と、教育機関及び検診事業者打合せ会で結果のフィードバックを行なっている。こちらでも対象者数が多いため、個別事例についての詳細な検討が困難である点が課題である。いっぽうで（1）（2）ともに、長期に大きな集団での疫学データを集積可能であり、有意義に活用していくことが望まれる。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏢 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 眞理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-3] 横浜市方式学校心臓検診の精度管理

○岩本 眞理¹, 鉾崎 竜範², 西澤 崇³ (1.まりこどもクリニック港南台, 2.国立病院機構 横浜医療センター, 3.横浜共済病院)

Keywords：精度管理、緊急心電図、再判読委員会

【緒言】心臓検診の方法は各自治体に委ねられるが、横浜市方式を紹介する。【方法】1973年に学校保健法により学校心臓検診が義務づけられた。横浜市は1962年に学校心臓検診を聴診とレントゲン写真でスタートした。1995年学校保健法改正で心電図検査が義務化され、横浜市は1992年に12誘導心電図を導入、1994年管理委員会・再判読委員会を設置した。1次検診での心電図記録時に緊急対応を要する所見（QT延長・心室頻拍・完全房室ブロック・極端な徐脈・高度右室負荷・検査技師や区判定医が緊急と判断した例）は「緊急心電図」としてホットラインで小児循環器専門医が直ちに判読し医療機関に直接紹介する。その他の心電図は各区で小児科・循環器内科医による判定後、小児循環器専門医3名により再判読を行う。精密検査を行う医療施設の振り分け（緊急、重症度による区分）を行い、要精検例は市内20医療機関を受診し、診断と学校生活管理指導を受ける。なお学校心臓検診は横浜市教育委員会より横浜市医師会への委託事業である。【結果】横浜市の公立小・中・高1の児童生徒数は2023年度55,622名、一次検診の再判読率は3.0%、再判読後要精検率は1.5%となった。二次検診受診者754名のうち4名がE禁以上の運動制限の指導を受け、内容は心室頻拍・肥大型心筋症・QT延長症候群であった。その他心房中隔欠損9、QT延長16、WPW症候群49であった。260名は運動制限なしの経過観察、492名は管理不要となった。過去5年間では他に高度房室ブロック・心房細動・狭心症疑い・多発PVC・肺高血圧症・心房頻拍等が運動制限、心房中隔欠損症は16名が治療を受けた。【結語】横浜方式学校心臓検診の1.5%の精検率は適正な数値を保っているが、早期発見・突然死予測等の検証を含め、継続的な精度管理が求められる。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏢 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 真理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-4] 学校心臓検診のデジタル化の取り組み：2025年 Update

○三谷 義英^{1,2} (1.三重大学医学部附属病院周産母子センター, 2.小児循環器医療DXワーキング)

Keywords：学校心臓検診、心電図、デジタル化

学校心臓検診の対象疾患の早期診断における学校心臓検診の有用性が報告された。しかし、全国調査（学校保健会）によれば、県別要精検率、要管理率は、地域により6-7倍の差があり、学校心臓検診の判読の精度の地域差が示された。また、過半数の自治体で心臓検診判定委員会の有無、検診の未受信者の把握、総括的な報告など不明とされ、心電図の判読、精度管理の全国的な標準化、近てん化が課題とされた。2021年の文部科学省の調査で、検診結果は、約90%は保護者に紙で返却されていた。本学会の実態調査2024では、学校心臓検診の心電図判読、問診票のデジタル化されている地域は少なく、さらに現在の学校心臓検診に関わる個人情報保護、関係者の働き方改革上の課題から、事業継続性が課題として挙げられた。現在、政府の進める医療DXの取り組みの中で、Public Medical Hub(PMH)の取り組みが注目される。PMHは、医療・保健分野の行政手続や情報連携のデジタル化によって、住民・自治体・医療機関の業務負担を軽減し、サービス向上を図る事業で、これまで医療費助成や予防接種、母子保健、介護保険で開始され、自治体検診、学校健診への進展が期待されています。以上の認識に基づいて、関連6学会から学校心臓検診のデジタル化の提言が発表された。検診の問診収集・判読実務のデジタル化が最初の第一段階と考えられ、既に実務段階であり、部分的には県、市レベルで採用されている。スマートフォンを用いた問診のデジタル登録、問診・心電図保存・心電図判読と総合判断のクラウド活用、広域のデータ解析、個人のPHR管理は、これからの課題であり、2025年度において、PMHの観点からも議論される。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏠 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 真理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-5] 切れ目のない学校保健を目指した、学校健診 DX 実証取り組みと目指すところ

○畑中 洋亮^{1,2} (1.一般財団法人あなたの医療, 2.内閣官房デジタル行財政改革会議事務局)

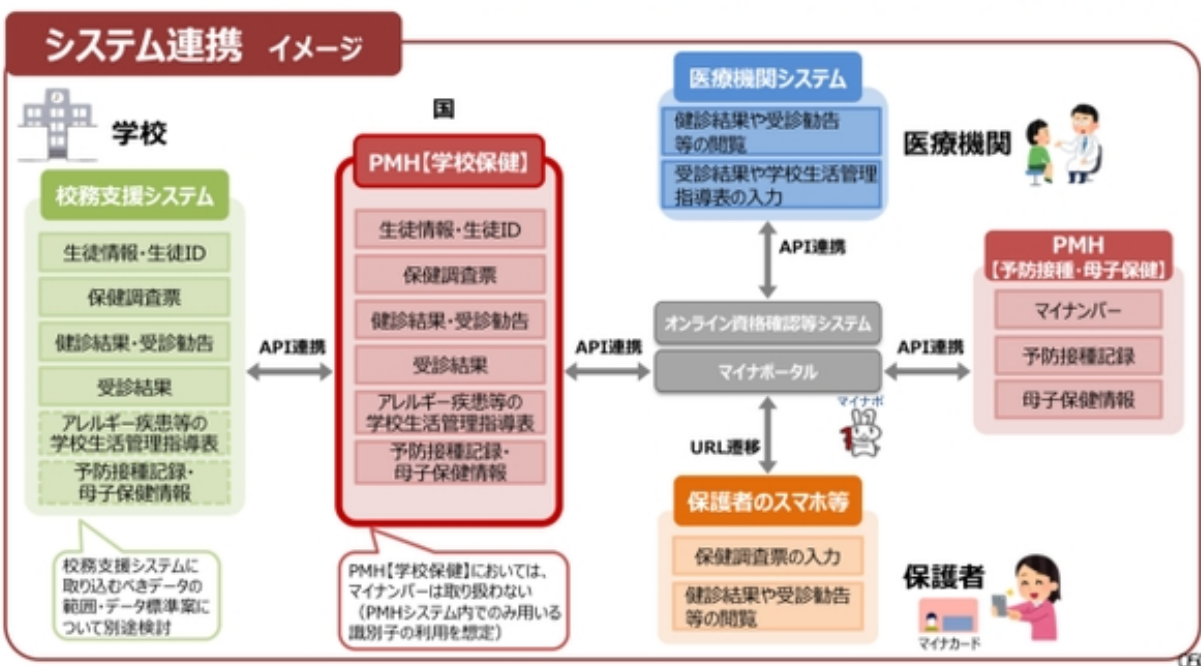
Keywords：学校健診、PMH、デジタル行財政改革

政府は、全国の意欲ある自治体と連携し、学校保健領域のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進するため、「デジタル行財政改革」の枠組みに基づいた新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型 TYPESによる実証事業を開始したに取り組む。本取り組みは、統合型校務支援システムに格納される学校健診情報のデジタル化を前提とし、保護者や地域のかかりつけ医療機関という地域内外等の関係者間におけるをつなぐ政府データ連携基盤PMH(Public Medical Hub 学校保健)の構築を目的とし、将来的に国や地方の標準的なデジタル基盤構築な全国展開を見据えた効果検証を行う先導的モデルである。従来、学校健診は紙ベースでの保護者調査票、健診結果の管理や手作業による集計・分析が一般的であり、学校・保護者・医療機関の情報共有には多くの課題が存在していた。本実証では、健康診断データの電子化を進めるとともに、健診結果を保護者や医療機関と安全かつ迅速に共有できる仕組みを構築することで、学校健診等に係る保護者や学校、医療機関の事務負担の軽減を図るとともに、地域の健康管理体制の高度化を目指す。また、EBPM（証拠に基づく政策立案）やサービスデザインの観点を導入し、利用者起点のKPI（重要業績評価指標）を設定して継続的な効果測定を行うとともに、他自治体への横将来的な全国展開も見据えた標準仕様の策定も行われる予定である。この取り組みは、単なるデジタル化にとどまらず、子どもを中心とした「切れ目のない保健情報・子育て支援」の実現と、学校保健が地域医療と連携する新しい公共サービスモデルの構築に資するものである。

学校保健のDXに向けたデータ連携基盤の構築イメージ

デジタル行財政改革会議

予防接種・母子保健等の分野において、自治体・医療機関等をつなぐ情報連携基盤として整備が進められている **PMH (Public Medical Hub)** を **学校保健に拡張** し、校務支援システムや医療機関システム、マイナポータル等と連携することで、**各種手続のデジタル完結・ワンスオンリー**と学校・地域医療機関の情報共有を併せて実現する。



Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏢 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 真理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-6] 新潟県での学校心臓検診のデジタルトランスフォーメーションの取り組みと課題

○鈴木 博¹, 小澤 淳一², 沼野 藤人³, 塚野 真也⁴, 佐藤 勇⁵ (1.新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター, 2.長岡赤十字病院 小児科, 3.新潟大学医歯学総合病院 小児科, 4.新潟市民病 小児科, 5.よいこの小児科さとう)

Keywords：学校心臓検診、デジタルトランスフォーメーション、心電図

【はじめに】 学校心臓検診のデジタルトランスフォーメーションが望まれるが、実際に行われている地域は限られている。新潟県の都市部で医師会が主導した取り組みと過疎地域で研究も念頭に行った取り組みを紹介する。【新潟市】 心電図はデジタル化され、氏名ではなくID番号で管理。問診票は紙媒体で管理。判定は同市学校心臓検診専用開発された心電図判定システム（オンプレミス型）を用い、心臓検診委員（約20名）が新潟市医師会の事業所内に出向いて判定。心電図はMFERに変換し、心電図判定システムに取込。記録紙費用の削減や心電図の保管場所が不要、判定作業の効率化などの利点はあるが、過去の心電図の比較は判定システム内ではできないことや初期費用とメンテナンス費用がかかるなどが課題。

【南魚沼市】 個人固有のIDを教育委員会が作成してデータ管理。心電図はデジタル化され、問診票は紙媒体。判読はオンプレミス型。同市から委託された医師一名が、同市から貸与されたスタンドアローンのPC（同市学校心臓検診専用開発された心電図判定システム判定が入った）で行っている。心電図はMFERに変換し、判定システムに取り込み。問診票の有所見は判定医が入力。学校での身体測定や血液、尿検査の結果、既往歴も同判定システムに取り込み。過去のECGとの比較や他の健診情報の参照も判定システム内でできる利点はあるが、費用や継続性が課題。【結語】 両市ともシステム構築には教育委員会との連携と強力なリーダーシップが必要であった。診断精度向上や省スペースなど利点は多かったが、継続性やさらなる効率化が課題である。

Committee Panel Discussion

🎵 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏠 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 眞理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-7] 富山県下に於ける学校心臓検診デジタル化の現状

○藤田 修平^{1,3}, 竹田 義克¹, 臼田 和生², 畑崎 喜芳³, 三川 正人³, 廣野 恵一³, 津幡 眞一³, 橋本 郁夫³, 辻 春江³, 宮崎 あゆみ⁴, 上勢 敬一郎⁴ (1.富山県立中央病院 小児科, 2.富山市医師会 心臓検診特別委員会, 3.富山市医師会 心臓検診特別委員会, 4.高岡市医師会)

Keywords：学校心臓検診、デジタル化、心電図判読

富山県の学校心臓検診デジタル化富山県は15市町村、人口約100万人で医療体制は4医療圏、11医師会から構成される。当初、心電図等の記録は紙媒体で保存して専門医師による判読が行われてきたが、学校管理下での事故が発生した場合には迅速なデータの再確認が困難であった。そこで富山市医師会では2002年より組織の一元化と生涯継続管理を目的に心電図・心音図のデジタル収録を開始し、翌年から1次判読（オーバーリード）で利用する事とした。また、個人調査票をサーバに保存した。2008年からは個人調査票が県内で統一された事を機に、USBによる総合判定（個人調査票・心電図・心音図）を行う事で迅速かつ正確な判定と検索が可能となった。富山県では医師会主導によるオンプレミス型デジタル運用を行っている。現在、富山市医師会が管理、把握している6市2町1村ではデジタル化が進んでいる（全県小学校の85.6%、中学校の84.5%がデジタル化）が、残りの4市2町は未だに紙媒体での運用がなされており状況把握が不十分である。一方、富山県医師会主導による高等学校・支援学校は県内全てデジタル化されている。効率、効果 デジタル化の結果、学校心臓検診の個人調査票、心電図判読は格段に能率的となり過去のデータとの比較も容易となった。特にQT延長症例のデジタルデータ、コンピューターソフトを用いた接線法での判読、精査症例の抽出法は画期的であり効率と正確性が飛躍的に向上した。また年度末の委員会では当該年度症例の検討を過去データと比較検討して精度の向上に努めている。反面データを正確かつ安全に保存するためには多大な労力と経費を必要とするのが実情である。今後の学校心臓検診に関して 今後、学校心臓検診のデジタル化は必須であるが、その方法は各自治体及び医師会の状況を勘案しつつ国が進める医療DX政策のなかで費用対効果を考えていく必要がある。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏢 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 真理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-8] 仙台市・宮城県の学校心電図検診デジタル運用の取り組みと課題

○木村 正人^{1,2}, 河村 司^{1,3} (1.仙台市児童生徒心臓病精密検査専門委員会, 2.国立病院機構 仙台医療センター 小児科, 3.宮城県成人病予防協会)

Keywords：学校心電図検診、デジタル化、医療DX

仙台市の学校心電図検診は、宮城県が昭和52年に日本学校保健会の検診モデル県に指定を受けた際に、医師会が開催する心電図判定会（仙台市児童生徒心臓病精密検査専門委員会）において要精査心電図を抽出する現在のスタイルが確立され、1枚の心電図判定に複数の判定医が関わることで心電図検診の精度管理を行ってきた。我々は、近年の医療DX推進の動きを背景に、コロナ禍における判定会開催を経験したことで心電図検診のデジタル運用の必要性を強く認識した。2022年4月に医師会担当理事を中心に心電図判定委員だけでなく、各健診機関の検診担当者や仙台市教育委員会などもメンバーとした仙台市学校心電図検診デジタル化WGを立ち上げ、学校心電図検診のデジタル運用を目的に協議を重ねてきた。その結果、さまざまな議論を経て2025年度から仙台市における学校心電図検診のデジタル運用を開始することが決定した。さらに、当初は想定していなかったが、心電図記録を委託している健診機関が重複しており、県内のほとんどの市町村でデジタル化が進むことになった。学校心電図検診をデジタル運用することでコスト面での改善だけでなく「経年的心電図変化の観察」や「心電図の後方視的検討」などが容易になることが期待され、学校心電図検診のレベルアップに寄与するものと考えられる。また、宮城県の学校心電図検診は、仙台市のように集団判定会で有所見者を抽出しているのはごく一部の市町村のみであり、小児循環器専門医が判定会に主体的に関わっているのは仙台市のみであるのが現状である。県内の学校心電図検診のデジタル化は県内における学校心電図検診の均てん化のきっかけになることも期待されている。仙台市学校心電図検診の取り組みを紹介するとともに宮城県の学校心電図検診デジタル化の現状について紹介する。

Committee Panel Discussion

📅 Thu. Jul 10, 2025 5:10 PM - 7:10 PM JST | Thu. Jul 10, 2025 8:10 AM - 10:10 AM UTC 🏠 Room4
(Gender Equality Center 1F Multipurpose hall)

Committee Panel Discussion(I-HRS)

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産母子センター）

座長：岩本 眞理（まり こどもクリニック港南台）

座長：鮎澤 衛（神奈川工科大学 健康医療科学部）

コメンテーター：渡辺 弘司（日本医師会）

[I-HRS-9] 石川県予防医学協会のクラウド型学校心臓検診

○岩田 みどり¹, 田畑 正司², 伊藤 真一¹, 島田 英司¹, 中山 美樹¹, 中山 美咲¹, 幅岸 稚奈¹, 狭間 裕子¹, 太田 邦雄³ (1.一般財団法人 石川県予防医学協会 健康増進部, 2.一般財団法人 石川県予防医学協会, 3.金沢大学医薬保健研究域 医学教育学)

Keywords：学校心臓検診、心電図検査デジタル化、クラウド

当施設では年間約11,000件の学校心臓検診を実施している。これまで心電図検査は記録紙で実施し、判定の大部分を外部医療機関に委託していたため、様々な問題を抱えていた。これらの問題を改善すべく心電図検査のデジタル化を導入し、システムの構築、心電計の更新、記録および判定方法の変更など運用面での検討を行った。システムの構築はすでにレントゲン検査等で使用していたクラウド型PACSを活用し、画像（心電図波形）と健診基幹システムからの個人属性を結びつけ学校心臓検診判定用レポートを新たに作成した。併せて判定方法を変更し、問診と心電図を別々に判定し総合判定とすることとした。その理由は、判定用レポートに問診結果を反映するには日数を要し、既存のシステムでは画面の設計上、問診結果の確認に時間を要することなどであった。判定環境を施設内と同等に提供するため、外部医療機関内に判定端末を設置し、施設内の専用機器と接続した。判定医はレポートから画像を呼び出し判定し、その結果は健診基幹システムと連携し、結果作成まで可能とした。クラウド型PACSの利用は、施設内に大型のサーバーの設置および定期的な更新が不要なこと、データは多重管理され暗号化秘密分散方式により安全性を担保していること、災害等により施設が倒壊した場合でもデータは施設内にないため復旧が容易なことなどのメリットがある。併せて、心電図検査のデジタル化により作業の効率化、リスクの軽減、資材費の削減など一定の効果が得られた。一方、当施設では各自治体からの委託により検診を実施しているが、判定委員会の設置はなく、独自で学校から学校生活管理指導票をフィードバックしてもらい精度管理を行っているため、判定や事後指導など精度管理が不十分で地域差があると感じている。本シンポジウムでは当施設の学校心臓検診デジタル化に向けての取り組みおよび効果、現状の課題について報告する。